

教科名	地理歴史	科目	世界史選択（特進）	単位	3
-----	------	----	-----------	----	---

1. 教科書および副教材・参考書

- 教科書：『詳説世界史探究』（山川出版社）
 資料集：『最新世界史図説タペストリー』（帝国書院）
 問題集：『高校世界史基本用語問題集 ツインズ・マスター』（山川出版社）
 問題集：『新世界史研究ノート応用編』（啓隆社）
 問題集：『世界史探究実力トレーニング』（啓隆社）
 参考書：『世界史探究用語集』（山川出版社）

2. 授業の目標および内容

世界史選択では、16世紀の主権国家の成立以降を中心に学びます。世界をとりまく環境は刻々と変化をしています。現在でも世界の至るところで内乱を含めた戦争がおこり、戦争を介して新たな国家（政権）が誕生しています。このように国家誕生の歴史は、戦争の歴史と言っても過言ではありません。中世から近代にかけては、このように生と死をかけた人々の努力を経て、民主的な近代国家が誕生していきました。さまざまな過去の人々の努力により、自由・平等を基礎とした民主主義が形成され、現代世界の基礎が確立されたことを意識して下さい。そして、世界の諸地域には、さまざまな言語・生活習慣・宗教・文化などが数え切れないほど存在しています。すべてを理解することは困難ですが、それぞれの国家のあらましを理解するとともに、将来の日本を背負って立つ国際人としての資質を養い、異文化を寛容に受け入れる態度や姿勢を育むことで、人権的な偏見を無くし、国際協調の精神を持つための準備段階を整えることが授業の目標の一つです。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	
学力試験	第1回 6月		第2回 9月		

内容・難易度について

① 定期試験：100点満点で出題

教科書のページではかなりの広範囲になります。レベルも基礎から応用まで多岐にわたります。難関私大にも対応しうる問題を用意します。内容に応じて論述の課題を出します。

② 学力試験：100点満点で出題

入試を意識して、定期試験よりも高レベルの問題を実施します。

4. 課題・補習について 適宜、必要に応じて行います。

5. 評価の視点

定期テストの点数を基本に、平常点（提出物、小テストの結果、学力テストの結果、授業態度など）を含め、総合的に評価点を算出します。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	近世西洋史 近代西洋史 東洋史③	<u>第11章近世ヨーロッパ世界の動向</u> ③主権国家体制の成立 ④オランダ・イギリス・フランスの台頭 ⑤北欧・東欧の動向 ⑥科学革命と啓蒙思想 <u>第12章産業革命と環大西洋革命</u> ①産業革命 ②アメリカ合衆国の独立と発展 ③フランス革命とナポレオンの支配 ④中南米諸国の独立 <u>第13章イギリスの優位と欧米国民国家の形成</u> ①ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 ②列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 ③アメリカ合衆国の発展 ④19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 <u>第14章アジア諸地域の動揺</u> ①西アジア地域の変容 ②南アジア・東南アジアの植民地化 ③東アジアの激動	ICTを活用し、一方的な講義ではなく、双方向的な授業にする。
2	現代史① (大戦期) 現代史② (戦後史)	<u>第15章 帝国主義とアジアの民族運動</u> ①第2次産業革命と帝国主義 ②列強の世界分割と列強体制の二分化 ③アジア諸国の変革と民族運動 <u>第16章 第一次世界大戦と世界の変容</u> ①第一次世界大戦とロシア革命 ②ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ③アジア・アフリカ地域の民族運動 <u>第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成</u> ①世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊 ②第二次世界大戦 ③新しい国際秩序の形成 <u>第18章 冷戦と第三世界の台頭</u> ①冷戦の展開 ②第三世界の台頭とキューバ危機 ③冷戦体制の動揺 <u>第19章 冷戦の終結と今日の世界</u> ①産業構造の変容 ②冷戦の終結 ③今日の世界 ④現代文明の諸相	ICTを活用し、一方的な講義ではなく、双方向的な授業にする。